

## 15. 福岡市における自然毒食中毒事例及び検査体制について（2012）

保健科学課 加藤 由希子・堀江 文・森川 英俊

中村 正規・常松 順子

平成 25 年度食品衛生研究発表会

自然毒を原因とする食中毒の発生件数は、全体の食中毒の総数と比べると、件数や患者数はそれほど多くないが、症状の重篤化や死亡事例は少なくない。食中毒の原因物質の究明は、再発防止や治療等にとって重要であり、その迅速性も求められる。当所では、食中毒や健康危機管理時に迅速に対応できるよう、検査可能な化合物を増やす等の検査体制の整備を行っている。平成 24 年度に福岡市で発生したきのこ及びふぐによる自然毒食中毒事例の概要とともに、当所における自然毒食中毒発生時の検査体制について報告する。